

# 天草市本庁舎建設基本計画



平成 25 年 5 月  
天 草 市

## 目 次

はじめに	1
1. 庁舎建設の検討経緯	2
1-1. 基本計画の位置づけ	2
1-2. 基本構想	3
2. 現本庁舎の基礎調査	6
2-1. 現本庁舎の位置及び形状等	6
2-2. 自然条件・社会条件	7
2-3. 上位計画の整理	12
2-4. 現本庁舎の課題と現状整理	13
3. 新庁舎建設の基本理念・基本方針	16
3-1. 新庁舎建設の基本理念・基本方針	16
3-2. 庁舎機能の配置方式の考え方	18
4. 新庁舎の建設計画地及び配置計画	19
4-1. 建設計画地の検討経緯	19
4-2. 建設計画地の決定	24
4-3. 敷地状況と配置計画	25
5. 新庁舎の具体的施設（機能）計画	29
5-1. 必要規模の検討	29
5-2. 駐車場等の規模	32
5-3. 新庁舎の導入機能と整備の考え方	34
6. 事業計画	44
6-1. 概算事業費	44
6-2. 財源内訳	45
6-3. 事業スケジュール（予定）	46
6-4. 新庁舎の事業手法	47
6-5. 設計者の選定方法	48
7. 基本・実施設計に向けて	50
参考資料 市民参画及び庁内検討	
1. 市民アンケート調査	52
2. 職員アンケート調査	54
3. 庁内検討	57

## はじめに

本市は、生活圏の拡大と多様なニーズへの対応、少子高齢化や厳しい財政状況など、近年の市町村を取り巻く社会情勢の変化に対応するため、平成18年3月27日に2市8町が合併して誕生しました。

合併後は、新市づくりの基本理念である『日本の宝島“天草”の創造』の実現に向け、住民の誰もが誇りに思う「天草市」の宝を輝かせるために、理想のまちづくり、活力あるまちづくりを目指しているところです。

それらを実現するための拠点として、合併以降、新市の本庁舎は事務スペースの関係上、主要な本庁機能の一部を旧熊本県職業訓練校に配置していますが、事務室等の狭隘さもさらに顕在化し、庁舎機能と市民の利便性が低下しており、その抜本的な対応が求められています。

さらに、本庁舎は昭和41年に建設されていますが、新耐震基準を満たしていないことが判明し、施設・設備の老朽化が進んでいるばかりか、エレベーターなどバリアフリー化への対応が遅れ、高齢者等の皆様方に大変ご不便をおかけしているのが実情であります。

また、合併協議会においては、新庁舎の建設について「新市の組織・機構のあり方、職員の定員適正化計画及び財政事情等を勘案しながら、新市において合併後10年を目途として検討する」となっており、新市建設計画にも新庁舎の建設事業は、主要事業のひとつに位置付けられています。

このようなことから、市民への行政サービスの低下を招くことなく、市民の利便性について十分に配慮した庁舎とするため、平成22年度に天草市本庁舎建設基本構想を策定しました。

さらに、平成23年7月に「天草市本庁舎建設検討委員会」を発足し、7回の委員会開催を経て、平成24年3月に「天草市本庁舎建設に関する提言書」が市長に提出されました。

本計画は、前述の提言内容、市民アンケート等で市民の方からいただいた意見、「市議会庁舎建設に関する特別委員会」の意見並びに市役所内で組織された「市庁舎づくりプロジェクトチーム」での意見等を踏まえて、新庁舎建設の基本的事項についてまとめたものです。

今後は、基本設計や実施設計の中でより具体的で詳細な検討を行ってまいります。